

2017年4月30日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」
(主はすばらしい・アーメン)(イエスは主)

3つの愛

聖 書 マタイによる福音書 6章25～34節(p9)

音 楽 宮田四郎兄(伴奏:佐久間美江姉)

証 詞 仲宗根ダニエル兄(モーセ会)

メッセージ ①「御手の前にへりくだる」久保田豊伝道師

②「明日を守られるイエス様」坪井永城副牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「まず、神の国と神の義とを求めなさい。
そうすれば、これらのものは、

すべて添えて与えられるであらう。」

(マタイ六の三十三)

【町田ニュース】

- ・ **国際飢餓対策への募金**は前のかごへ。祝福がありますように。
- ・ 昼食後1:15～「**二つの翼・弟子クラス**」があります。豊かな恵みの時間。
- ・ 今週の祈禱会は「**泉チャペル献堂17年記念聖会**」です(Y)。水曜夜7時半は、中国から**新川宣教師**。木曜10時半はインドネシアから**プラト師夫婦**。金曜夜9時は丸藤伝道師。
- ・ 土曜日午後4時半より**祈り会**。祈りは力です。
- ・ 来週の第2礼拝の説教者は、**前田先生**と大川牧師。特賛は前田サラ姉。
- ・ 5月9日(火)「ほっとママの会」。19日(金)～21日(日)「ファイヤーカンファレンス」。講師:ダニエル・コレンダ、トッド・ホワイト。共に恵みを受けましょう。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

先週のこと。幼稚園に息子を迎えに行くと、取っ手の壊れたてんとう虫の入った虫かごを手に息子が座ってふさぎこんでいました。担任の先生が「お父さん、今もめごとがあったので、これから話し合いの場を持ちますから少しお待ちください」と話し、時間をかけ、当事者の5人の男の子たちを集めました。

誰もがうつむいています。ある子は来ようとせず、ある子は先生を蹴とばし、ある子は先生に押さえられ、ある子はソワソワしています。誰もがイライラし、また責めを感じていました。先生は一人ひとりを励まし、どんな思いで虫かごのとりあいをしたのか、話させ耳を傾けていきました。そして「みんな、よく言葉でお話しできたね。言葉で話すと、お友達がどういう思いでいたのかがわかるでしょう?」。そう言うと、誰に謝ることを強制することも、罰することもせずに解散させました。

私はたまたまその場に立ち会い、先生の対処法に感心しました。これこそがキリスト教保育であり、シオン幼稚園なのです。

誰かを罰することで、恐れによって園を支配し、指導者たちの不安を解消させようとするのではなく、ひとりひとりが自分とは異なる気持ちがあることを理解することを通して、自らの頭で自分がどうしたら良かったのか、今後どうしたら良いのかを考えるように育てていくのです。そこには子どもが自由意志でどうするかを選ぶ自由があります。背後に子どもが良い選択ができるという信頼があります。

私は「尊敬の文化」というセミナーに先々週参加し、大発見をしました。

神様は律法と罰を与えることによって私たちを恐れさせコントロールする方ではありません。牧師もそのような存在であってはならないのです。律法や原則に捕らえられ、それを破れば罰があると恐れによって生きるのはもはや旧約時代の生き方なのです。キリストはそのような律法から私たちを解放されました。

新約の律法は愛です。愛の環境は自由です。イエス様との生きた愛の関係の中で、御霊の導きに従って歩むのが新約時代の生き方です。イエスに仕える動機はただ愛のみです。恐れはありません。愛と恐れは共存できないのです。

そしてイエス様との愛の関係を育むための、聖書、Q.Tノート、祈りなのです。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ルカ22章～24章 Bコース:サムエル記下23～列王記上13章